

市川市消防委員会資料

日 時 : 令和2年2月5日 (水)

10時00分から

場 所 : 市川市消防局 4階会議室

目 次

1 議 題

令和2年度市川市消防局の主な施策（案）について (P 1)

2 報 告

(1) 令和元年消防出動状況について (P 4)

(2) 救急隊の増隊について (P 6)

(3) 台風15号・19号・21号に伴う活動状況について (P 7)

(4) 消防施設整備事業の進捗状況について (P 14)

市川市消防団第4分団車庫兼詰所新築工事

(5) 大野訓練場訓練施設設置業務委託について (P 15)

3 その他

消防局における今後の主な行事予定について (P 16)

令和2年度 市川市消防局の主な施策（案）

施 策	施策の内容	主な担当課
消防施設整備の 推進	<p>消防庁舎等の施設は、重要な防災拠点施設としての機能を有しており、消防業務の遂行に支障を来すことなくその機能、設備を継続的に維持、管理する必要があることから、計画に基づき適正かつ効果的に消防施設の整備・改修を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 消防局・東消防署合同庁舎4階改修工事 ・ 消防局・東消防署合同庁舎エレベーター改修工事 ・ 災害対策用自家給油所設計委託（大野消防訓練場） 	企画管理課
消防車両等の整備 推進	<p>消防車両の整備計画に基づき車両等の更新、整備を行い、消防活動体制の充実強化を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ はしご自動車のオーバーホール整備 1台 ・ 高規格救急自動車の製造 3台 ・ 救助工作車の製造 1台 ・ 資材搬送車の購入 1台 ・ 災害用ドローンの購入 1台 	企画管理課
消防指令業務共同 運用の推進	<p>千葉県北西部ブロックにおける消防指令業務共同運用第2期整備は、現行の6消防本部（松戸市、市川市、野田市、流山市、鎌ヶ谷市、浦安市）に4消防本部（習志野市、八千代市、柏市、我孫子市）を加えた、人口240万人を管轄する新指令システムを構築し、令和3年2月に運用を開始する。</p> <p>引き続き消防指令業務の充実を図り、住民サービスの向上を目指す。</p>	指令課
消防団及び婦人 消防クラブの充実 強化	<p>消防団は、1団本部、23個分団、346名の団員で組織され、火災出動はもとより、地震や風水害等の大規模災害時に、地域住民の避難誘導や救助救出を行うなど住民の生命・身体及び財産を災害から守るためには欠かせない存在である。このようなことから、消防団を中心とした地域防災力の充実強化を図るため、団員の確保をはじめ消防団の装備や訓練、環境整備に積極的に取り組む。</p> <p>また、婦人消防クラブは、現在14支部287名の会員で組織され、一般家庭からの火災防止と大規模災害時における地域の防災リーダーとして活動するために、初期消火や応急救護等の技術を修得し、防災訓練等において指導を行うなど、地域に密着した活動を行っている。今後も地域の中心的存在として、活動内容の充実や組織体制の強化を図る。</p> <p>（消防団員数・婦人消防クラブ員数・令和2年1月1日現在）</p>	警防課

施 策	施策の内容	主な担当課
火災予防対策の推進	火災予防を推進するため、市民に防火思想の普及啓発を図ることを目的とし、春季・秋季全国火災予防運動の実施に伴う訓練や消防広場などのイベントをはじめ、様々な機会を通じて、市民と消防の連帯感を高め火災予防対策の推進を図る。	予防課
訓練・研修の充実	多種多様化する災害事象や市民ニーズに対応するため各種訓練の充実を図るとともに、研修・講習等への職員の参加等を積極的に推進し、職員の自己啓発意欲及び資質の向上を図る。	消防総務課 予防課 警防課 救急課
救急需要対策の強化	超高齢社会や年々増加する救急需要に対応するため市民の救急相談に応じる救急電話相談事業や住民自らがスマートフォンを利用して緊急度判定を行える全国版救急アプリなどの利用を積極的に促進する。 また、救急車にスマートフォンを導入し、ネットによる医療情報のリアルタイムでの把握、多言語対応アプリの活用を図るなどの救急需要対策の強化を図る。	救急課
救急業務高度化の推進	救急業務の高度化を推進するため、医師による救急救命士に対する指示体制、救急隊員に対する指導助言体制、救急活動の医学的観点からの事後検証体制及び救急救命士の教育研修体制等のメディカルコントロール体制の充実強化を図るとともに、救急隊員の資質、技術の向上を目指す。	救急課
応急手当普及啓発業務の推進	救急車の要請から救急隊が現場に到着するまでに、市民等による応急手当が適切に実施されれば、大きな救命効果が得られる。 そのため、幅広い年齢層の市民に応急手当の知識と技術が普及するよう、市民体験型の応急手当普及啓発活動を積極的に推進していく。	救急課
救助体制の充実強化	東京外かく環状道路、国道298号線の開通による交通事故の増加、さらには社会情勢の変化に伴う多種多様化する災害に対応するため、高度救助隊及び特別救助隊の救助技術・能力を向上強化し、併せて装備品等の充実を行う。	警防課

○ その他の推進事業

施 策	施策の内容	主な担当課
住宅用火災警報器の設置並びに維持管理普及啓発の推進	<p>すべての住宅に対する住宅用火災警報器の設置義務化から10年以上が経過し、電池切れや機器本体の劣化に伴う作動不良が懸念されるため、引き続き設置定着を図るとともに、イベントや広報紙などを通じて定期的な点検、本体交換など維持管理の周知を図る。</p> <p>また、全国的に住宅火災における高齢者の死者の割合が高いことから、住宅火災の現況も含め総合的に防火指導をする必要があるため、あらゆる機会を通じて、火災発生時における住宅用火災警報器の有効性について奏功事例等を用いて説明し、設置率の向上、維持管理の普及啓発を図る。</p>	予防課
防火・防犯対策等の推進	<p>地域における安全・安心の確保を図るため、消防職・団員が一致協力しながら、婦人消防クラブ、自治会等と連携し、防火・防犯のパトロール等を推進していく。</p> <p>また、毎年火災原因の上位である放火（疑いを含む）を防ぐためには、地域全体で「放火されない環境づくり」に取り組む必要があり、一人一人が放火火災の危険性について認識を持つことが重要であることから、空地の枯草除去、ごみ出しのルール徹底、共同住宅の共用部分や公共施設のトイレ等の放火危険箇所のパトロールといった具体的な対策について消防訓練や広報紙等を通じ住民や管理者へ啓発していく。</p>	警防課 予防課
消防応援・協力体制の強化	<p>近年、懸念されている東京湾北部を震源とする地震及び複雑・大規模化する災害事象に備え、様々な訓練機会を通じ、千葉県消防広域応援協定、緊急消防援助隊等による広域応援の他、隣接消防本部（局）間における消防相互応援体制の強化を図る。</p>	警防課 救急課
安全衛生管理体制の充実と健康管理体制の促進	<p>職員の意見や提案を反映させながら、各施設の環境整備を図るとともに、災害活動時や訓練時における安全管理及び登退庁時における事故防止の徹底を図る。</p> <p>また、職員の体力向上への取り組みや、精神的ストレスが溜まらない職場環境づくりに努め、心と体の健康管理の充実を推進するとともに、職場におけるハラスメントを防止するため、職員の意識の更なる向上を図る。</p>	消防総務課

【報告 1】

令和元年 消防出動状況 (平成31年1月1日～令和元年12月31日)

令和2年1月31日現在 (概数)

1 諸出動状況

区分	年別	令和元年	平成30年	増減数	増減率
火災		92	97	-5	-5.2%
警戒		4,226	3,915	311	7.9%
風水害		3	1	2	200.0%
応援		36	40	-4	-10.0%
救助		411	368	43	11.7%
救急		23,850	23,570	280	1.2%
計		28,618	27,991	627	2.2%

2 火災発生状況

区分	年別	令和元年	平成30年	増減数	増減率
火災件数		92	97	-5	-5.2%
火災種別	建物火災	58	66	-8	-12.1%
	林野火災	0	0	0	—
	車両火災	6	4	2	50.0%
	航空機火災	0	0	0	—
	船舶火災	0	0	0	—
	その他火災	28	27	1	3.7%
焼損棟数		59	88	-29	-33.0%
り災世帯		39	52	-13	-25.0%
り災人員		91	118	-27	-22.9%
焼損床面積(m ²)		937	1,420	-483	-34.0%
焼損表面積(m ²)		93	132	-39	-29.5%
損害額(千円)		108,752	140,973	-32,221	-22.9%
死者		0	4	-4	-100.0%
傷者		17	36	-19	-52.8%

3 火災原因別状況

原因別	たばこ	こんろ	ストーブ	こたつ	ポイラー・排気管	電気機器・装置	電気配線・器具	火あそび	マッチ・ライター	たき火	灯火・衝突火花	放火(疑い含む)	その他	不明	調査中	合計
令和元年	19	12	0	1	0	2	10	4	0	1	2	15	16	8	1	92
平成30年	12	18	1	3	0	1	9	3	1	1	5	18	11	12	0	97
増減数	7	-6	-1	-2	0	1	-1	1	-1	0	-3	-3	5	-4	1	-5

4 救急出動状況

区分	年別	令和元年		平成30年		増減数	増減率
		出動数	構成比	出動数	構成比		
火災		56	0.2%	83	0.3%	-27	-32.5%
自然災害事故		10	0.0%	0	0.0%	10	-
水難事故		18	0.1%	14	0.1%	4	28.6%
交通事故		1,577	6.6%	1,574	6.6%	3	0.2%
労働災害事故		233	1.0%	218	0.9%	15	6.9%
運動競技事故		115	0.5%	112	0.5%	3	2.7%
一般負傷		3,602	15.1%	3,552	14.9%	50	1.4%
加害		149	0.6%	138	0.6%	11	8.0%
自損行為		158	0.7%	197	0.8%	-39	-19.8%
急病		15,040	63.1%	14,874	62.4%	166	1.1%
その他		2,892	12.1%	2,808	11.8%	84	3.0%
計		23,850	100.0%	23,570	98.8%	280	1.2%

5 消防相談出動状況

区分	署別	東署	西署	南署	北署	合計
		蜂の駆除				
	スズメバチ	1	2	0	1	4
	アシナガバチ	2	1	3	5	11
	へびの駆除	0	0	0	4	4
	動物の保護(捕獲)	10	4	5	7	26
	動物の死骸除去	4	8	2	7	21
その他	焚火・花火の放置	4	5	2	9	20
	警報器等に関すること	13	8	15	3	39
	危険排除	3	2	1	6	12
	鍵等の開錠	2	2	2	2	8
	異臭・異音の調査	2	3	4	2	11
	その他	15	26	28	14	83
	合計	56	61	62	60	239

【報告 2】

救急隊の増隊について

1 目的及び効果

年々増加する救急出動に対し、連続して出動する救急隊員の健康管理、また更なる市民サービスの向上を図るため、令和2年度より現在12隊の救急隊を1隊増隊し、13隊で運用いたします。

増隊により救急隊ごとの救急出動件数が平準化し、現場到着時間の短縮や重症疾患等へのより迅速な対応が見込まれます。

2 配置年月日

令和2年4月1日 南消防署へ配置（南救急2）

3 救急隊配置場所

配置場所	現配置救急隊	増隊する救急隊
東消防署	東救急1、東救急2	
中山出張所	中山救急1	
高谷出張所	高谷救急1	
西消防署	西救急1	
国府台出張所	国府台救急1	
大洲出張所	大洲救急1	
南消防署	南救急1	南救急2（※令和2年度増隊）
行徳出張所	行徳救急1	
広尾出張所	広尾救急1	
北消防署	北救急1	
曾谷出張所	曾谷救急1	

【報告3】

台風15号に伴う活動状況について

警防課（計画担当）

1 気象情報

- (1) 降雨量測定 令和元年9月8日23時から9月9日8時
消防局雨量計 123.0mm
時間内最大雨量 令和元年9月9日4時から5時
消防局雨量計 41.5mm
- (2) 風速測定 令和元年9月9日0時50分から10時
時間内最大風速 令和元年9月9日4時から5時
38.9m/s（東北東）

2 被害状況 合計280件

- (1) 人的被害 中等症2名
ア 66歳の女性が風にあおられた扉に頭部をぶつけて負傷したもの。
(頭部挫創 中等症)
イ 83歳の女性が共同住宅の共用通路にて強風にあおられ転倒し、負傷したもの。(左腰痛 中等症)
- (2) その他の被害 278件
倒木62件、建物一部損壊59件、看板等の破損26件、道路冠水10件
床下浸水6件、救助5件、床上浸水1件、ベル鳴動（被害なし）71件
その他38件

3 消防の体制 205名

- (1) 消防局人員 190名（当直127名 非常招集63名）
(2) 消防団人員 15名

【報告3】

台風15号の被害に伴う消防職員の災害派遣について

警防課（計画担当）

台風15号の被害に伴い「災害時における千葉県内市町村間の相互応援に関する基本協定」に基づき、消防職員の災害派遣を下記のとおり実施いたしました。

記

- 1 派遣先及び派遣期間
館山市 令和元年9月24日（火）から9月27日（金） 4日間
鋸南町 令和元年9月28日（土）から10月4日（金） 7日間
※9月29日（日）、10月4日（金）については、雨天予報のため派遣中止
合計11日間
- 2 派遣者
96名（延べ人数）
- 3 活動内容（合計40件）
 - （1）屋根へのブルーシート展張 34件（館山市15件 鋸南町19件）
 - （2）屋根の補修 2件（館山市1件 鋸南町1件）
 - （3）壁の補修 2件（鋸南町2件）
 - （4）倒木処理 1件（館山市1件）
 - （5）瓦、トタンの排除 1件（館山市1件）

【報告3】

台風19号に伴う活動状況について

警防課（計画担当）

1 気象情報

- (1) 降雨量測定 令和元年10月11日17時から10月13日1時
消防局雨量計121.0mm
時間内最大雨量 令和元年10月12日8時から9時
消防局雨量計19.0mm
- (2) 風速測定 令和元年10月12日11時から10月13日1時
時間内最大風速 令和元年10月12日21時から22時
44.3m/s（南南西）

2 被害状況 合計97件

- (1) 人的被害 0件
- (2) その他の被害 97件
建物一部損壊30件、倒木14件、看板等の損壊7件
河川等の氾濫の恐れ1件（真間川）、電線等の切断1件
ベル鳴動（被害なし）14件、その他30件

3 消防の体制 552名

- (1) 消防局人員 334名（当直125名 非常招集209名）
- (2) 消防団人員 218名

【報告3】

台風19号に伴う消防団の活動状況

1 活動状況

管内パトロール 4回

令和元年10月12日 13時、16時、19時30分、

令和元年10月13日 0時

2 災害対応

20件

倒木 4、避難勧告広報活動 3、看板等落下 3、工作物の破損 2

避難者支援 2、電気ケーブルの落下 1、神社扉の確認 1

タイヤ交換 1、標識等の傾き 2、飛散物の回収 1

【報告3】

台風19号の被害に伴う千葉県消防広域応援出動準備について

警防課（計画担当）

台風19号の被害に伴い、消防組織法第43条の規程に基づき、下記のとおり応援出動準備を実施いたしました。

記

- 1 応援先及び応援準備期間
香取市 令和元年10月13日（日）19時06分から
令和元年10月13日（日）20時23分まで
（千葉県経由で、香取市より応援の必要なしとの連絡を受け、応援準備を解除した）
- 2 応援の目的
利根川の下流、香取市付近において氾濫危険水位を超過し、避難勧告が出されたため出動要請があったもの。これに伴う流域避難者の支援活動のため。
- 3 応援出動準備部隊及び人員
隊員輸送車1隊3名

【報告3】

台風21号に伴う活動状況について

警防課（計画担当）

1 気象情報

- (1) 降雨量測定 令和元年10月25日 4時から17時
消防局雨量計 115.0mm
時間内最大雨量 令和元年10月25日 11時から12時
消防局雨量計 15.5mm
- (2) 風速測定 令和元年10月25日 10時から17時
時間内最大風速 令和元年10月25日 14時から15時
21.5m/s（北東）

2 被害状況 合計6件（入電時の内容）

- (1) 人的被害 0件
- (2) その他の被害 6件
倒木2件 床下浸水2件 道路冠水2件

3 消防の体制 195名

- (1) 消防局人員 137名（当直128名 日勤者9名）
- (2) 消防団人員 58名

【報告3】

台風21号の被害に伴う千葉県消防広域応援出動について

警防課（計画担当）

令和元年台風21号の被害に伴い「千葉県広域消防相互応援協定」に基づき、下記のとおり応援出動を実施いたしました。

記

- 1 応援先及び応援期間
長生郡市消防本部 令和元年10月25日（金）23時50分から
令和元年10月26日（土）12時50分まで
- 2 応援出動部隊及び人員
救助小隊1隊10名、後方支援隊1隊4名
（10月26日9時40分現地交代 救助小隊5名、後方支援隊2名）
- 3 活動内容（合計3件）
 - （1）「スーパーマーケット駐車場で冠水し逃げられない。車の中で待っている。」との通報内容。現場に向かい、避難済みであることを確認した。
 - （2）「自宅前が道路冠水しており、外に出られない。2階へ避難している。」との通報内容。電話連絡をし、避難済みであることを確認した。
 - （3）「床上浸水のため避難できない。」との通報内容。現場に向かい、避難済みであることを確認した。

【報告4】

市川市消防団第4分団車庫兼詰所新築工事

「概要」

市川市消防団第4分団車庫兼詰所は、建築後43年が経過し、耐震基準を満たしていないことが判明したため、本年度予算にて新築工事を行うこととなりました。

また、この施設の下に下水道管があることから、下水道管の補強工事後に解体、新築工事を行う予定です。

工事の開始時期につきましては、本年7月初旬を予定しております。

記

- 1 工期 令和2年6月初旬（契約予定）から令和3年1月中旬まで（予定）
- 2 施工場所 市川市真間2丁目7番9号 市川市消防団第4分団車庫兼詰所
- 3 庁舎概要 鉄骨造、2階建、延べ面積48.6㎡
- 4 団員数 13名（令和2年1月1日現在）
- 5 配置車両 小型動力ポンプ付積載車

【報告 5】

大野訓練場訓練施設設置業務委託について

「概要」

現在の訓練施設は設置後10年以上経過しており、これまでは適宜補修・組替えを行ってきたところですが、錆等の進行が激しく、補修・組替えが困難になってきたため、一部施設を除き大掛かりな改修が必要となりました。

安全面及び工期を考慮し、専門的な技術を持つ業者に設置を委託するものです。

記

- 1 委託場所 大野町4丁目2163番地の1 市川市大野消防訓練場
- 2 委託期間 令和2年1月14日～同年3月13日
- 3 委託業者 飯塚建設株式会社
- 4 設置内容 (1) 訓練塔7塔(全て高さ7m)
最上部床面積約34㎡×5塔、約45㎡×2塔
(2) 煙道(コの字型)
内周26.2m×2箇所
(3) 高塀
高さ3m、幅1.8m、奥行き1m×2箇所

【その他】

消防局における今後の主な行事予定について

1 春の火災予防運動に伴う消防広場

スプリング ファイヤー フェスティバル

- (1) 開催日時：令和2年3月1日（日）10時00分から12時00分まで
- (2) 場 所：市川市鬼高1丁目1番4号
「ニッケコルトンプラザ コルトン広場」
- (3) 目 的：春の火災予防運動に伴い、火災予防広報活動として消防広場を開催し、市民とコミュニケーションを図り、一層の火災予防を呼びかけるとともに、子供から大人までが防火・防災意識を高め、地域住民の自助力の向上に資することを目的として実施する。

2 その他の消防局行事予定（令和2年2月5日現在）

予定日	場 所	行事名
4月26日（日）	大野消防訓練場	市川市消防団操法大会
6月14日（日）	鎌ヶ谷市	第39回公益財団法人千葉県消防協会東葛飾支部消防操法大会
7月11日（土）	千葉県消防学校 （市原市）	第56回千葉県消防操法大会

